

2024 年卒

3 月 1 日時点の就職活動調査 〈速報〉

キャリアス就活 2024 学生モニター調査結果 (2023 年 3 月発行)

2024 年卒の採用広報が3月1日に解禁され、多くの学生が就職活動を本格的にスタートさせた。コロナ禍からの業績回復などを背景に企業の採用意欲が一層高まる中で、どのようなスタートを切っただろうか。キャリアス就活・学生モニターを対象に、解禁直後の就職活動状況や意識について調査を行った。

1. 3 月 1 日時点の内定[※]状況

- 内定率は 32.4%。前年同期実績 (28.6%) を 3.8 ポイント上回る
- 内定企業の 7 割強 (73.9%) が「インターンシップ等[※]参加企業」。活動終了者は全体の 7.4%

2. エントリー状況

- 一人あたりのエントリー社数は平均 19.1 社。前年同期 (19.6 社) より微減

3. 就職活動解禁を迎えた心境

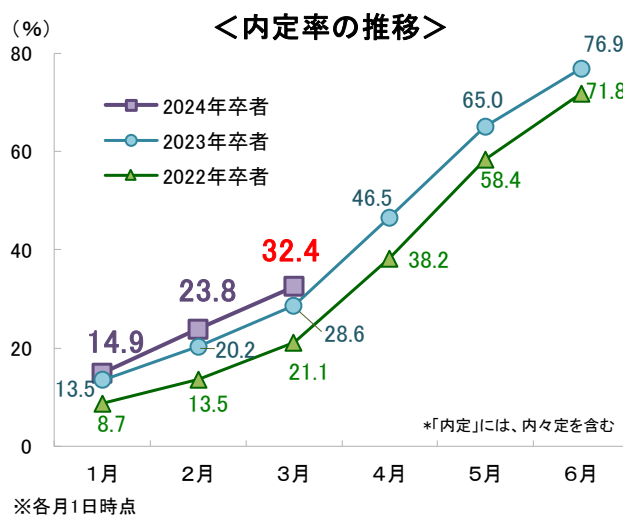
- 「いよいよ本格的に始まった」(50.2%) と「いまさらという感じ」(45.0%) の差が縮小

※「内定」には内々定を含む ※1日以内のプログラムも含めて調査

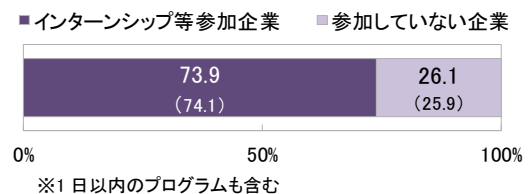
1. 3 月 1 日時点の内定状況

3 月 1 日以内で内定を得ている学生は全体の 32.4%。前回調査 (23.8%、2 月調査) からの 1 カ月間に 8.6 ポイント上昇し、就活解禁のタイミングで就活モニターの 3 割が内定を手に入れていることがわかった。前年同期実績 (28.6%) を 3.8 ポイント上回っており、現在の日程ルールが 8 年目を数える中で、早期化が一段と進行していることが読み取れる。内定企業の 7 割強 (73.9%) がインターンシップ等のプログラムに参加していた企業。

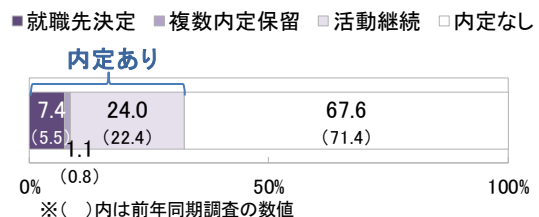
内定取得者の大半は内定を保持しながら就職活動を継続しており、就活終了者 (就職先決定) はモニター全体の 7.4%。多くの学生にとって本番はこれからだ。



〈内定を得た企業の内訳〉

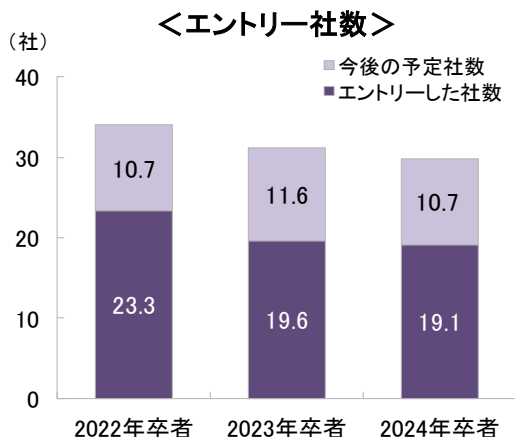


〈活動状況の分布〉

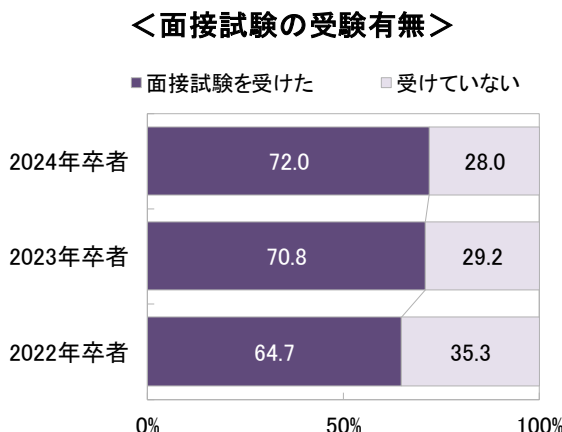


2. エントリー状況

一人あたりのエントリー社数の平均は 19.1 社で、前年同期実績 (19.6 社) から微減した。今後のエントリー予定社数は平均 10.7 社で、同様に前年調査 (11.6 社) を下回る。一方で、すでに面接試験を受けたという学生は前年よりさらに増加し、72.0%に上る。早い時期に接点を持った企業の選考が先に進んでいることで、視野を広げる必要性は薄くなり、エントリー企業を絞り込む傾向に繋がっていると考えられる。



※各年3月調査

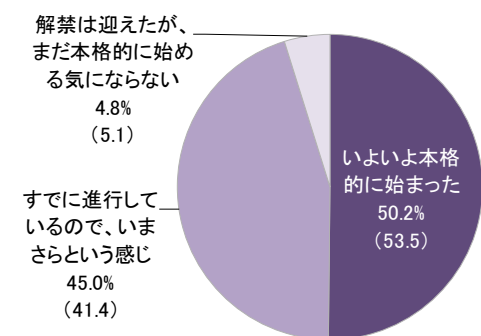


※各年3月調査

3. 就職活動解禁を迎えた心境

3月1日の「解禁日」を迎えた心境を尋ねた。自分の気持ちに近いものを選んでもらうと、「いよいよ本格的に始まった」と回答した人が最も多いものの (50.2%)、前年調査より割合は低下。その分「いまさらという感じ」が増加し (45.0%)、両者の差は縮まった。上述のように本選考が前倒しで進み、内定率が3割を超える状況では、解禁日を意識する学生が減るのは当然だろう。

＜就職活動解禁を迎えた現在の気持ち＞



※()内は前年同期調査の数値

■学生の声

- 情報が解禁され、エントリーが始まるので、内定をいただけるように頑張ります！ <文系女子>
- 夏から動いていて早い方かと思ったが、実際はそうでもないし、企業も早く内定を出したりして、不安やプレッシャーが多いと感じる。 <文系男子>
- 既に就職先が決まっている人は少なくなく、解禁日の節目は形骸化してきていると感じます。 <理系男子>
- スケジュールがたてこみ、すべてこなせるか不安である。 <文系女子>
- まだやりたいことも何も決まっておらずめっちゃくちゃ焦っている。 <理系女子>

調査概要

- 調査対象 : 2024年3月に卒業予定の大学3年生 (理系は大学院修士課程1年生含む)
- 回答者数 : 1,264人 (文系男子384人、文系女子408人、理系男子318人、理系女子154人)
- 調査方法 : インターネット調査法
- 調査期間 : 2023年3月1日~6日
- サンプリング : キャリタス就活2024学生モニター